

特集①

コミュニケーション型国土行政 I

社会資本整備を通じて国民が満足する行政サービスを提供するためには、政策に対する国民の声を聞き、反映することが重要です。近畿地方整備局では、国民に開かれた質の高い行政サービスの提供を目指し、コミュニケーション型国土行政を進めています。

PIプロセス^{*1}の導入による道路行政の推進

概要

近畿地方整備局では、計画決定手続きの透明性、客観性、公正さを確保するため、計画の早い段階から第三者等の関与による市民等との双方向コミュニケーションを行うPIプロセ

スを推進しています。

これまでに、京奈和自動車道大和北道路、大阪湾岸道路西伸部、淀川左岸線延伸部等で幅広く取り組んでいます。

用語解説

*1 PI(パブリック インボルブメント)プロセスとは、施策の立案や事業の計画・実施等の過程で、関係する住民・利用者や国民一般に情報を公開した上で、広く意見を聴取し、それらを反映する方式をいいます。

平成17年度の実施内容

平成17年度は、都市計画の手続き、環境影響評価の手続きを進めます。

～大阪湾岸道路西伸部におけるPIプロセスの導入～

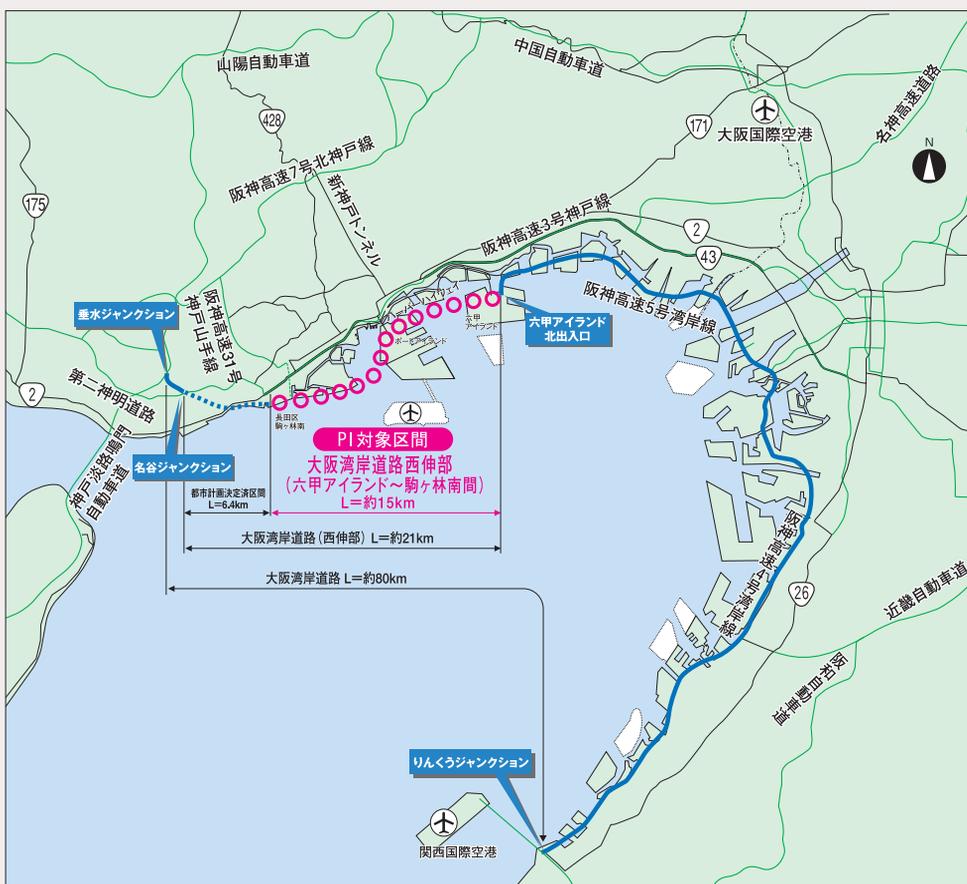
大阪湾岸道路西伸部は、大阪湾ベイエリアにおける広域交通ネットワークを形成する総延長約80kmの大

阪湾岸道路のうち、現在未整備である神戸市東灘区(六甲アイランド北出入口)から同市垂水区(名谷ジャンクション)間のことをいいます。

した。平成17年1月に提言を頂いており、提言後、平成17年2月には兵庫県都市計画審議会に対して環境影響

評価に関する事項の調査について諮問されています。

このうち神戸市東灘区(六甲アイランド北出入口)から同市長田区(駒ヶ林南)間(約15km)については、PIプロセスを導入することとし、平成15年11月から第三者機関である「大阪湾岸道路有識者委員会」において「必要性」や「計画を進めるにあたっての配慮すべき事項」等についての審議がなされま



PIの対象区間位置図